

SSKA

ああるぴい

RP三重支部会報第13号

—◇ はじめに ◇—

政権が代わり、福祉施策がどう変わるかまだ未知数ですが、これからはその動向に注視していかなければなりません。

そこで、今年も国会への署名行動を展開しておりますので、是非ご協力をお願いします。

さて、来年は三重支部が発足して15年となります。今回はオーストラリアのRPの皆さんと交流の機会を計画しております。

計画案ができあがり次第に連絡をさせていただきます。

是非たくさんのご参加をお待ちしております。

目次

1. 新春交流会のお知らせ
2. 白内障の手術をして早10年 伊藤 和子
3. 私の白内障手術の結果 森田 美代子
4. 四国への旅 大東 寿恵
5. 代議員会に臨んで 小川 正次
6. 同窓会 川瀬 清良
7. 東海・北陸リーダー研修会 in 福井 桜井 将人
8. 北海道へ行ってきました。 肥留間 英美
9. 「読書を楽しんでいます」 小川 明美
10. 地区運動会に併せて障害者体験教室を開催 佐藤 好幸
11. 結婚五十年をかえりみて 榊原 美佐子
12. まめしばの出産から子育てまで 中山 ちさ子
13. 秋の交流会に参加して 森田 ノブエ
14. 平成21年度RP三重総会議案書

平成22年 R P三重新春交流会のご案内

記

1. 開催日：平成22年1月24日（日曜日）
2. 開催場所：奥伊勢フォレストピア
所在地：多気郡大台町藪993番地
電話：0120-017137（オйнаイミナ）
3. 会費：4,000円
4. 申し込み期限：1月10日（日曜日）
5. 申し込み先と内容：
各地区委員まで、参加者氏名と人数、集合場所および盲導犬の有無をご連絡ください。
6. 集合場所および時刻：
松阪駅近鉄側（北側）改札口 午前9時30分までに集合
または、直接会場へ集合の場合、午前10時40分
（ご要望があれば、送迎バスにJR三瀬谷駅にも寄っていただけます。10時20分頃）
7. 日程と主な内容：
9時30分 松阪駅近鉄側（北側）改札口付近 送迎バスに乗車後出発
10時50分 開会（挨拶など）
11時00分 新春講演会
テーマ：「健やかに生きるために」
講師：川口祐二さん（かわぐち ゆうじ さん）
プロフィール：
「NHKふるさと通信員」
「NHK深夜便現在出演中」「三重大学客員教授」
24冊の執筆を発刊されておられます。
12時15分 懇親会（昼食、自己紹介、オークションバザー）
14時30分 閉会（ご希望があれば、買い物）
送迎バスにて松阪駅に向かう
8. 当日の緊急連絡先：090-7696-7499（河原会長携帯）
9. お願い：
JRPSでは、研究助成金捻出のため、寄付金を募っています。三重支部では、今回も会員持ち寄り品のオークションにより、資金調達を行う予定です。
つきましては、新春交流会に直接品物を持ち寄っていただいたり、前もって参加者に品物を届けていただいたりして、みなさまのご協力をいただきたく思います。
よろしく願いいたします。

なお、地区担当者と連絡先は下記のとおりです。(一部移動あり)

県北部の女性会員 小川裕子 0593-82-0020

県北部の男性会員 佐藤好幸 0594-31-4041

yoshiyuki5110911@yahoo.co.jp

津・亀山地区 肥留間英美 090-7435-6754

hdemitan@ma.mctv.ne.jp

久居一志・伊賀地区 桜井将人 090-3389-5598

mogu_dream@ybb.ne.jp

松阪・飯南地区・紀勢地区 辻本和仁 090-6765-5739

motchin1@amigo2.ne.jp

伊勢・度会・多気地区 木村靖子 0596-52-0811

yasuko-k@triton.ocn.ne.jp

志摩・鳥羽地区 小川正次 0599-43-2523

sanryoin@poplar.ocn.ne.jp

◎ 松阪駅集合のための電車の時刻について

【名古屋方面から】

名古屋発 伊勢中川行き 急行 伊勢中川で宇治山田行き急行に乗り換え

名古屋発 7:41 桑名発 8:02 四日市発 8:15 白子発 8:37 津発 8:49

伊勢中川着 9:01 宇治山田行き 急行に乗り換え 伊勢中川発 9:06

松阪着 9:13

名古屋発 松阪行き 急行

名古屋発 8:01 桑名発 8:22 四日市発 8:35 白子発 8:53 津発 9:06

伊勢中川発 9:19 松阪着 9:26

【名張方面から】

大阪上本町発 宇治山田行き 快速急行

名張発 8:18 東青山発 8:50 伊勢中川発 9:06 松阪着 9:13

【鳥羽方面から】

鳥羽発 名古屋行き 急行

鳥羽発 8:50 伊勢市発 9:07 松阪着 9:21

その他、特急電車やJR線などご利用の場合は、各自お問い合わせください。

皆さんこんにちは、鈴鹿の伊藤和子です。初めての投稿経験です。

私は平成元年に眼科の先生から網膜色素変性症と、白内障ですと告げられて、その時の視野は30度ぐらいだったと思います。その当時は病名を告げられても、何のことやら？わからず、えっ！大変や！なってしまったで仕方ないわ！ここでこのまま病気が進まなかったらラッキーなのに！先生からは「何年後かには針の穴で覗くようになる」と、告げられて、針の穴からってどんな見え方？涙が勝手に湧き出てきて！（これをオニの目にも涙と言うような感じかな？）（苦笑い）でも、ここで諦めきれずに、病院めぐり！市内は勿論のこと、四日市から桑名、愛知県、遠いところでは、千葉県まで（千葉の場合は宿泊ありで2年弱ほど、毎月、新幹線で通いました、後で知ったのですが、千葉の同じ病院に同じ病名、色変で隣町の人も私と同じところに行っていたとの事を知りました）良いと聞けば、たとえ遠くても、ワラにもすがる思いは、皆さん同じ、祈り！そうこうしている間に、白内障が進み、色の区別がつかなくなり、なにをみても灰色がかって、立体感が失われて・・・物が見えにくくなり、それにすごくまぶしくて目が開いていられない！状態がつづいて、眼科医に相談したら「まだ手術はしなくてもいい」との言葉をもらいましたが、自分には、まぶしくて、朝、カーテンも開けられない状態だったので、10年過ぎたころに長年かよった眼科病院を思いきって変え、白内障の手術になるのですが、次の眼科医さんに「網膜色素（トリメ）があるからほかの人ほどは感動はないですよ」といわれましたが、今よりは見えるようになる！と信じて手術に入りました。私は遠くを見えるようにレンズをあわせてもらいました。5日間入院で両眼ともしました、片方が15分ぐらいの手術で水晶体の入れ替え術で、麻酔も点眼薬！簡単といえば簡単かな？それに先生は、昔は20年しかもたないが、今は50年持ちますよと言われましたが、術後10年が過ぎて今少しまぶしさを感じます、色変と年齢も重なってのことからでしょうね。10年も前の事を思い出すのは大変ですが、ハッキリと心に残っているのは、白内障手術後の喜び！石ころ、電線、屋根瓦、木の葉っぱなど何もかもが、一つ一つハッキリ見え！特に白色が真っ白に見え、凄く感動でルンルンでした。

今まで見えなかった地平線が見たくて白子の海辺に連れて行ってもらい、海と空のくべつがハッキリ見えて「うわー見えるー！見えるー！！」と叫び、ふたたびの感動！その時の喜びは忘れられないし、50年もつならもっとはやく手術をしてもらえる病院にいけば良かったと思っていたなー！と今思い出しています。

いろんな先生に診察をしてもらいました。

やっても無駄とか、してみたらどうですかとか。いろいろ言われました。

ある時は手術の結果で障害者手帳の見直しもあると言われました。

それ程白内障を手術すれば見えるのかも知れない。だけど私は視力が中心はとてもよく見えていたので、とても苦労してやっと年金がもらえるようになったばかりみえるよりみえなくてもこのままでいいと思っていました。

でも心の底でもう一度もしかしたらとの思いがありました。

最近全く目の前が形がない世界になってしまいました。

もしかしたら白内障を取り除いたら見えるのではないだろうか。このままでは悔いが残る見えなくてももともとだと思って決心しました。

今はシルエットがわかるようになり目の前は暗い所明るいところはわかるようになりました。小さい文字パソコンの文字も動かないのでじっと見ていたら読めます。でもどう説明して良いかわからないけど、自分の指も目の前で数えることが出来ません。

本当に不思議な目です。

目の前の人影も全くわかりません。透明人間で音で感じています。

でも私は思い切って白内障手術を受けてみて本当によかったと思っています。

1 1月初め、学生時代の友人達と四国へドライブ旅行をした。

湾岸道路を通り、高速も千円で、楽しい旅であった。四国に渡る橋もすべて完成していて白い鉄柱が、青空に映えていた。これらの景色も、いつまで自分の目で見られるのかと、いつもの不安が頭をよぎる。

大塚製菓が造った徳島の大塚美術館に入る。ここは各時代の世界の名画を陶板に写してあるという、とても珍しい美術館だった。それにしても美術館や喫茶店は、なぜこんなに暗くするのだろうか。

愛媛県内子に泊まり、翌日広島の平山郁夫美術館を見て倉敷に泊まる。夜は倉敷の町へ食事に出かけた。柳と白壁の通りも私には、まっ黒で足元が危ないだけの道だった。友人に手を取ってもらわないと一歩も歩けないほどだった。

翌朝、友人達と別れ、岡山から新幹線、近鉄と乗り継ぎ無事に帰宅。私の一人旅を内心案じていた家族もホッとした様子だった。

4 2歳の時、職場の勧めで人間ドック専門病院に出かけた。そこで初めて網膜色素変性症の病名を告げられた。「親は性病を患っていなかったか。夜盲の人は、身内にいなかったか」等聞かれた。医師からの説明や質問に大きなショックを受けた。この病気は一万人に一人。治療法は無いと言われた。帰宅後まず第一に子ども達を目の検診に連れて行った。幸い子ども達の発症は無かった。

ワラをもすがる思いで眼科を訪ねた。この難病を一緒に勉強していきましょうと慰めてくれた老いた女先生。冷たく突き放した日赤の男性医師等々。仕事も手につかず悩み、体中が凝って門をたたいた女マッサージ師からR Pの会を教えられた。早速入会し現在に至っている。

ここで、R Pは遺伝性の病気で、患者、医療研究者、支援者の三者が協力して治療法の研究を進めている団体がJ R Pの会だと知った。総会では、ドクター達が先進的な治療法の研究成果を素人に分かりやすく講演して下さる。R P仲間達は、視力に障害があっても生き生きと活躍している。その姿を見て、今は私も心の平静を取りもどし現状に感謝しながら毎日を過ごしている。

おわり

私は今年度より J R P S の代議員にご推挙頂き東京へ行ってきました。

今まで我らの支部長河原会長が本部の副会長となって活躍してもらっている事から三重支部の代議員を引かれたためその重責が私に回ってきたと言うことです。

代議員とは支部単位で会員が 100 名を基準として 100 名までは 1 名の代議員で、100 名から 200 名までは 2 名……となります。

三重支部では 100 名を少し切れるため 1 名の代議員と言うことで単独 1 人で出かけることとしました。5 月 30 日午前 6 時 20 分の特急にて名古屋へ向かい、新幹線に乗り換えるのです。乗換時間は 17 分間でした。充分間に合うだろう。と思っていました。

乗換に対しては近鉄の乗務員さんから J R の乗務員さんへのリレーでうまくガイドをして頂けるのです。

しかしここでハプニングが起きました。

J R の改札口での待ち合わせを名古屋の役員の人としてから新幹線に乗り込むようになって指定席も名古屋の方に購入して頂いてありました。

ところがその改札口で合流出来ず時間が来てしまいました。仕方なく J R の駅員さんに自分の乗り込むのぞみの号車と席番を言って時間いっぱいホームへ駆け込んで行ったのです。するとその駅員さんが他のお客さんに捕まり何かを問うてこられてそれを答弁しているうちにその乗るべき電車は出発してしまったのです。

それからです。乗せられなかった駅員さんは恐縮して次の電車に乗れる手配をしてもらい 10 分遅れの「のぞみ」に乗せてもらいました。新幹線の中では乗務員さんがドアまで来て座席を案内して下さいました。そしてまた、降りる手前では迎えに来てドアが開いたら次の駅員さんに私を受け渡して下さいました。いたせりつくせりでした。

この失敗の原因は二つが重なり合いました。

まずその 1 は、待ち合わせをしていた人の携帯電話番号のミス登録です。聞いて登録してから掛けて見たのですが「それでよい。」と言われて信じていたのですが間違っていたことです。それから 2 つめは待合い場所が名古屋駅では近鉄から上がった所と J R 単独の改札があります。それが違っていたことでした。自分では抜け目なく段取りをしたつもりでしたがもう少し慎重に計画をしなければいけないなあ。と反省したのです。

その後品川駅で名古屋支部の代議員さん達 3 名に待っていて頂いていて無事に合流出来たのでした。ほっと一息を付いて東京の会場へ着き、会議に臨みました。

代議員会には元気な全国の代表の人が来ておられて、活気ある会合となりました。自己主張をしたく大きな声で発言を求めるために我先にと声を張り上げ議長からの指示を仰ぐのです。やはり全国の代表となると発言力のあるパワーにあふれたエネルギッシュの人が沢山いて各支部を引っ張ってもらうのだなあ。と圧倒されました。この調子では会議が何時になってしまうか心配で私も発言を許してもらって帰りの新幹線の時間を告げて早退しようとしたのですが、私より遠くから来ておられる人もあり、定刻の 5 時に終了しました。この後懇親会もありましたが、私はこれが大好きですが東京ではとてもその日には帰ることが出来ないのであきらめて 5 時 40 分の「のぞみ」に乗って愛知の役員さんのお尻に付いて帰ってきました。

このように 1 人で東京へ出かけると言うことが以前では考えても見なかったんですが「案ずるよ

り安し」と言う諺もありますがやってみればそれほど大変なことでもなく人の力を借りることにより出来ることがほとんどです。

この代議員会に東京へ1人で行くことを決意したのは3月29日の事です。

これは業界の三重県の代表として東京で組織部関係の管理ソフトやレセプト管理のソフトのプレゼンテーションがあり、ここで初めて1人での県外出張となったのです。

この時は東京の「ジェイボス」と言うガイドボランティアの方に電車の乗り換えと会場までの引率をお願いしたのです。ここでぐっと自信が付き東京ぐらい。なんて強気で外出出来るようになったのです。

また、11月12日は京都見学に行きました。この時も京都のガイドボランティアの「ユニーズおこしやす京都へ」という団体をお願いして京都駅から鞍馬山・貴船神社・南禅寺・永観堂などと連れて行って案内してもらったんですよ。

皆さんも見えないことに恐れず、躊躇わず外に羽ばたきましょう。

私は、三重県最北 旧十社（とやしろ）村に生まれました。山間の静かな村です。

昭和20年代、多くの家で子供が5人～8人くらいいました。私も7人兄弟でした。その頃は家の中で遊ぶということはありませんでした。常に外で色々な遊びを考えて、みんなでワイワイガヤガヤ楽しかったことを覚えています。

そんな訳で私の小学校の同級生も89人と沢山います。現在1割強の方が他界しておりますので、寂しく思います。

学校を出てから、時々同窓会はしていましたが、最近は2年に1度、食事会か、日帰りのバス旅行をしておりましたが、今年は初めて一泊旅行を計画することとなりました。

決定通知は7月頃に来ました。

早速幹事さんに世話になるけど、頼むという事で参加させて頂くことになりました。

平成21年10月25、26日、一泊で西伊豆の土肥温泉です。

当日は皆が久しぶりに会うという事で、バスの中、又夜、宿でも話がはずみ楽しそうでした。

2日目は台風が伊豆諸島に接近とのことで、芦ノ湖の遊覧船は雨と風で大変でした。参加23名で22名が私のガイドさんと思い、楽しい旅が出来ました。

最後に、今度の時もこりずによろしく頼みますと言って別れました。

10月17日、18日に福井県の葦原温泉「若竹荘」でJRPS東海・北陸リーダー研修会が、行われました。

三重支部から、小川正次さん、佐藤好幸さん、肥留間英美さん、肥留間さんの旦那さんの肥留間俊治さん、私（桜井）の5名で参加させて頂きました。

私は近鉄の白子駅で、小川さんと合流し名古屋に向かい、JRの名古屋駅で佐藤さんと肥留間ご夫妻と合流し、福井に向かいました。

私は今回3回目のリーダー研修会の参加ですが、いつもですが目的地に着くまでは、ビールを飲みつまみを食べながら、盛り上がってますね。私はこんな雰囲気ストレスが発散し、大好きですね。

そうしてる間に気づいたら、目的地の駅に着き、改札口で福井支部の皆さんが出迎えてくれて、タクシーで「若竹荘」に移動し、昼食をとって会場に移動しました。

その後荒本支部長挨拶、日程説明し、JRPS会長の金澤真理さんが、「みえなくてもできること」生活の工夫と知恵の題名の講演と、もうまく基金事務局長の金井国利さんが、「網膜変性研究基金活動について」の題名の講演を聞き、いろいろ考えさせられた講演でした。

その後自分の宿泊部屋に移動し、暖かく気持ちいい温泉で疲れを癒し、夕食を兼ねた宴会場で盛り上がり、他の支部の皆さんと交流を深め、私も他の支部の方と知り合いになり、交流を深める事が、できました、

宴会終了後ももちろん、2次会もあり、私は他の支部の皆さんと、カラオケで盛り上がりRPの先生のNHK土曜ドラマ「チャレンジド」を大広間で見てる方もいました。

最後は大広間で皆集まって、自己紹介し夜遅くまで、盛り上がっていました。

2日目は、朝食後、4グループくらいに別れお互いに支部の問題を言い、話し合いグループごと発表する事になりました。

お互い同じような支部の問題を抱え日々奮闘している事がわかり、元気づけられました。

昼食後閉会になり、三重に戻ってきました。

毎回思いますけど、リーダー研修会は他の支部の方と交流が深まり、いやな事も忘れ勇気と元気を貰って帰ってくるので、参加してよかったと思います。

（静岡の大西支部長から、「チェリー」というあだなを付けられました）

また機会があれば、来年も参加したいと、思います。

これからもよろしくお願いします。

私は9月27日、28日、29日に北海道旭川、函館、そして竜飛（タッピ）海底トンネルで青森へと旅行しました。この旅行は民謡の会の皆様で8名のグループでした。まず津なぎさまちから高速船にて9時出発、セントレアから11時30分の飛行機で旭川空港に。

お天気にもめぐまれて、初めは今 人気の朝日山動物園を見学です。しろくま、ペンギン、アザラシの所には人だかりをしていました。モグモグタイムらしいです。飼育員のお話がおもしろいです。山の斜面に階段がありなかなか歩くのがたいへんでした。私はホロホロ鳥の泣き声をきいたようです、ハッキリとなくところをみてないのですが、クジャクと一緒にのオリでしたが大きさもクジャクとおなじくらいで灰色と白のまだらな色みたいでめづらしかったです。

一日目は白金温泉です。大雪山のふもとらしいです。それできつと寒いだろうと着物も余分にもっていききましたが、予想がはずれて暑いくらいでした。

二日目は富良野の富田ファームです。旅館を8時出発、9時ごろにつきましたが、さすがに風がつめたくふるえました。残念ながら季節はずれなので、花もサルビアだけで、ラベンダーもほとんどありません。焼きトウモロコシ、ジャガバターも昨日まででおわっていました。それから美瑛町にもお花畑がありますが、時間もないので車窓からです。ここへはもう一度お花のよい季節に来たいです。

11時30分発スーパーカムイ22号でサッポロ、北斗4号に乗り換えてはこだてに向かいます。乗車前に、北海道旭川駅のおいしい駅弁をかいました。二日目の湯の川温泉に着いたら残念 雨がふっています。それで函館の夜景はとりやめにしました。けっこう電車の移動がながくて5時間すわってばかりでしたから温泉でのんびりするのによかったです。

三日目は函館駅の朝市を見学して10時40分発白鳥18号で竜飛海底駅、駅員さんの誘導で説明を聞きながらケーブルで竜飛岬地上にでました。海底からいきなり明るい外の景色がなんだかふしぎな気がしました。ここでの見学が2時間で次の白鳥22号に乗車青森駅。ジャンボタクシーで3時間のコース青森は八甲田山の紅葉もなかなかでした。城が倉大橋からのながめは、すばらしいようです。皆が（ワーきれいやなーすてきやなー）の声で想像できます。蓮池があるところでは、少し降りて見学しました。つめたい風でした。7時25分青森空港から。楽しかったたびの終わりです。

平成21年11月9日～昨日今日の穏やかな小春日和の中、9月13日のことを思い返しています。思い出そうとしています。昔のことならそれなりに思い出せるのに、昨今のことを思い出せないというのはそろそろ・・・かな？と疑っています。私の身近にいる夫はそれを一番恐れているのじゃないかと思えます。皆様にはこのようなことはありませんか。

R P 三重支部の白杖体験会とプレクストーク取り扱い講習会の日（9月13日）は暑かったのでしょうか？あの日が暑かったのか涼しかったのかさえも思い出せませんが、久居駅前のお寿司屋さんへ行き、「日曜日はチラシが少ないね」と言いながら、同行の仲間10人がみんなちらし寿司を注文しました。アッ！ガイドヘルパーのお一人さんは生物が食べられないらしく助六寿司を注文していました。このチラシは新聞の折り込み広告のことです。気が付いてもらえたでしょうか。

昼食をすませ、集合地の久居駅改札口へ行った時にはすでにほとんどの人が集まってくれていました。それからポルタの3階の会場へ移動し、しばらくはみんながそれぞれの仲間・友達と近況を語り合っていました。

午後1時になって、それぞれのパーツに別れ訓練や講習会に参加しました。アイパートナーの歩行訓練師の先生の指導を4人の人が受けられました。また、R P 三重支部の会員でもある小川睦夫兄さんの指導のもとでプレクストークの講習会には16人が参加しました。参加してくれた仲間それぞれがプレクストーク利用の用途に応じて、少し知ってる人はそれなりの人に、更にもその上の利用法を習いたい人はまたそれなりの方が指導するというように一対一でおこなわれました。最後に小川睦夫兄さんのとりまとめで講習会は終了しました。

このように視覚に障害があっても白杖訓練を受けることによって、外出する時には白杖を手にし、1人で出歩く人もあれば、ガイドヘルパーさんやご家族・お友達やボランティアさん達にサポートしてもらいながら、白杖で自分の歩む先を確認しながら出歩くことが出来るようになった人も多いかと思えます。

これまでのカセットテープ利用からプレクストーク (PTR 1・PTR 2・PTP) にとってかわり、録音をとったり聞いたりすることができるようになってきました。これは画期的な物です。体験したことのある人にとっては使い慣れたら便利この上ない物と感じておられること間違いのないと思います。ただ、この機械の使い方がちょっと複雑で慣れるまでがたいへんです。でも、使い慣れたらこんな便利な物はないと思います。

私はこのプレクストークの PTR1 を利用しているのですが、録音は録音設定によって異なるのですがCD版ならば50時間ぐらいは録音をとることができます。CF（コンパクトフラッシュ）カードならば容量によって異なりますが何百時間も録音することが出来るのです。このプレクストークの機能としては、録音方法には音楽・朗読・テープ標準・テープ倍速・会議と選択することができます。再生方法には通常再生・セクションリピートの他に、編集再生・しおり区間リピート・タイトルリピート・オールタイトルリピート・ランダムリピート・カスタム再生などと、私のまだ利用したことのない知らない再生方法もあります。

私が今便利に利用しているのは、デジ版で届けられる志摩市の情報をCD版から自分のプレクストークのカードに簡単にバックアップがとれることです。だから、自分の必要などところだけその情報をゆっくり聞くことも保存しておくこともできるようになりました。その録音の聞き

直したいところにはしおりを付けることもできます。スリープタイマーで聞きたいだけの時間設定もできます。布団の中で聞いていると15分も聞かないうちに寝てしまう私はいつもこのタイマーを利用しています。録音をとる時には、見出しを付けたり、余分なところは削除したり・編集することもできます。また朗読本では、タイトルを選択することも見出しで読み飛ばすことも、ページへ戻したりすすめることもできます。録音再生のスピードも自分の聞きやすい速度にかえることもできるのです。もっともっと勉強すればいろんな便利な方法がわかりそうですが、今の私は趣味で習ってる民謡の指導してもらってる様子を録音して、自分の所にしおりを付けたり、聞き直したい所ではセクションリピートに設定し何度も何度も同じ所を聞き直しています。

この他にPTPと言うちっちゃなプレクストークもあります。これははがきの半分ぐらいの大きさで、録音もクリアにとれますし、再生も編集もできます。日本点字図書館や大阪ライトハウス情報文化センターから発信されているビブリオネットと言う録音図書から好きなタイトルの録音本を簡単に取りこむこともできるそうです。これはSDカードと言う切手ぐらいの大きさのちっちゃなカードですが4ギガ8ギガと言うように容量の大きなカードで何百時間もの録音を取り込むことができるそうです。

視覚に障害があると読書も文字の読み書きも出来ないと思っている人が多いかも知れませんが、今この世ではそんなことはなくなっています。週刊紙も月刊誌も、医療雑誌も調べたい分野の本もたくさん朗読されていますし、音声パソコンを利用すればインターネットでいろんな情報が取り込めます。でも、悲しいことに画像は読み上げてくれませんし、説明もしてもらえません。いくら便利になっても自分の目で見ることができない不自由さはなくすことはできそうにもありません。

だけど、私達の目の病気（網膜色素変性症）の治療法が研究され、それが次第次第に明るい情報を聞かせてもらえるようになってきました。いつの日にか私達の病気が恐れられなくなる日が遠からずやってきそうな予感です。それまでは、私達視覚障害者のために便利な道具や器具を開発されてる便利グッズを利用させてもらって過ごそうと思っています。

JRPS本部理事で、RP三重支部の会員のお一人でもある宮本忠先生の著された「目の旅路」総時間11時間30分25秒を、一枚のデイジー版として聞かせてもらうことができました。その中には私達の目の病気のことや便利グッズ・施設・ニュージーランド旅行のことなど宮本先生の諸々の思いも詳しく書かれてありました。また今映画化された評判の山崎豊子著の長編小説「沈まぬ太陽」も聞きました。また「華麗なる一族」や「不毛地帯」など、またちょっとエロっぽいところのある渡辺淳一さんの「化粧」とか「うたかた」なども聞きました。西村京太郎さんのサスペンスも楽しんでます。この読書にはまると家のこともメールチェックも怠りがちになってパソコンの前から離れられなくなってしまふ私です。

10月11日の日曜日には 私の住む桑名市ありよし地区自治会の地区運動会が小学校で開催されました。

それに併せて 体育館では 車椅子 アイマスク 高齢者体験教室がありよし地区人権啓発委員会主管で並行開催となり 100名程度のみなさまにご参加いただきました。

それには私の参加する そういんバリアフリー協会からは5名 啓発委員会からは5名が指導にあたり 実際は1時間半ほどでしたが思いの外沢山のみなさまにご参加いただきました。

この行事は在良地区としては 初めての開催で いろいろと戸惑うこともありました。

実は 桑名市の桑部地区というところでは くわべの秋という地区の文化祭のようなものが開催されています。その一つの催し物として2年程前から 車椅子体験教室が民生委員会と そういんバリアフリー協会の共催でひらかれています。

そこで 私の住む 地区でも そのような行事を是非とも開きたいものだと考えていました。

私の住む在良地区では 丁度毎年秋には自治会主催の地区運動会が開催されています。

わたしは桑名市身体障害者スポーツ 大会には毎年のように参加しています。

大会参加者の中にも 私の地区のかたがたは何人かみえるのではないかと考え、また 参加者以外にも 地区にも元気な障害者はたくさんみえるのではないかと思いました。

そこで地区運動会にも 障害者も参加できるゲームを作っていたくためにと障害者の仲間を捜しましたが よく分かりませんでした。

そこで 方向をちょっと変え障害者の元気な姿をみていただくよりも 参加者に 障害者を体験いただく 車椅子体験ゲームや アイマスク体験ゲームそして 高齢者体験ゲームもまたよいのではないかと競技にとりいれて下さいと 行事实行委員会に御願いしました。

ところが運動会の プログラムはほとんどできあがっているとのことでした。

そこで 体験教室のようなものをグラウンドの一角で 開催いただけないかと御願いしました。

ところが申し出の気持ちはよく理解できますが 今年は一時的に安全な 高齢者体験のみを体育館で開催したいとお話でした。

まだまだ一ヶ月ほどの期間はあり 折角の開催 なんとか車椅子体験 アイマスク体験 高齢者体験の三点セットの体験研修会を ひらけないものかと考えました。

そこで 私は 地区には人権啓発委員会というものがあつたことを思い出し 車椅子 アイマスク 高齢者体験の3つの体験教室を是非ともセットで 体育館で開催いただくようにと 会長さんに御願いしました。

その甲斐あつて運動会開催全員実行委員会で セット開催が承認され やつと実現の運びとなりました。

しかし全戸配布をと思っていた PR 用のチラシは一時的とかとのことで 今年はおさないことになりました。いったい何人来ていただけるかと心配していましたが100名ていどのかたがたに体験していただくことができました

このような行事是非とも来年も開催できたらと思っています。

今年も 少し準備不足のところもありましたが このように 開催できたことそれは地区に人権啓発委員会という日ごろから 人権に取り組んでいただいている団体があつたこと。

またその申し出を 受け止めていただけるような自治会組織が出来上がっていたおかげだと

思います。

また たいした PR もしないのに100名もの参加者があったこと これも 障害者を理解し共生の社会を築こうという 意識が地区のみなさまの心の中に巣立っている証だと思います。このように 成功裏に終了できましたこと 関係者のみなさまのご理解とご協力のおかげと深く感謝しています。

祖父42歳で病死・父30歳 戦死 だったので、物心が付いた頃には、母・祖母の女人家族で、父の顔も知らずに、女手で何不自由無く育てられました。

農家なので、働き手が必要だったので、卒業を待ちかねて19歳で、私にはもったいない方と結婚する事が出来ました。

暗い所は見えなかったが、母・祖母に助けられて家事・育児・田畑・山へと日々忙しく一生懸命に働いていました。

目も徐々に見えにくくなって来たところに、主人の町会議員の生活で、人の出入りが多くなり、お客さんの接待は見えにくいのに見えないと言う事が出来ずに辛い時がありました。

9年前に RP に入会させて頂く事が出来、私は明るく生まれ変わりました。

同じ悩みを持つ仲間に出会える事が出来、感謝一杯です。

目が見えなくとも、心の目で見ることが出来ます。

見えない事は、大変不自由だけど見えていたらこのような多勢の方々と出会える事は無かった。

見えないお陰と喜んでいきます。

皆さんに支えられパソコンの勉強もさせて頂き、全国視覚障害者の方々の情報を聞かせて頂く事が出来、前向きに明るく楽しい日々過ごさせて頂いています。

この幸せな日が、一日も長く続く様にお互いに健康に気をつけながら、健やかに過ごせることを願っています。

主人が犬をもらってくれと仕事場から電話がかかり、私は絶対に、飼えないからと言ったの。大反対したら、その日帰りに古い犬小屋を積んで牡犬も乗せて、相手側の人りがきたから、せっかく仕事で疲れているのに返すこともできないので置いて帰ってもらったの。

主人が犬好きなのがわかって、頼まれたの。持ってきたから仕方ないしと思って、まあ1匹きだからと思っていたら、またあしため今度はまめしばで牡と兄弟だと言って牝を連れてきたの。ますます頭に来て。絶対私は触らないし、世話しないとやったの。明日返してこいと言ってね。でも言うだけではね。置いていってしまえば、こちらの負けだよ。そしてその時に腹に入っているとは、全く誰もわからなかったみたいなの。

その犬に「はなこ」と名前を付けてやったの。

その花子がだんだん腹が下がってきて、なんだか妊娠してるのと違うかと言ってくれたの。毎日見てるからわかっているの、そしたら日がたつに連れて、お乳が大きくなってきたみたいと言いだしそのうちに乳首が真っ黒になってきたからこれは完全に子供が入っているよと見る人が言う。

そしたらまもなく9月23日お彼岸の日を待っていたみたいに、夜中の12時5分おかしな声が聞こえてきたので、あれ陣痛かなあと咄嗟に思った。

そして12時半ぐらいに、一匹産み落とす。旦那が離れに行ったので、おかしいと思い車庫に行っていたらしい。そしたら様子がおかしいからダンボールをさがしてその上にタオルケットをしいて子供を生んだが、ふくろやぶらずにころがっていると言うから、私はすぐに、破ってあげないとへその緒を親が切っていると窒息して死んでしまうからすぐ破ってと言った。そしたら鳴いてきた。

犬はちゃんと子供を敷物に乗せて場所の良い所に引っ張ってそこでちゃんと体中なめてきれいにしてから、ふらふらしていても私の所にちゃんと座って、頭をずっとさげて頼むと言っているように思えた。

だから私は大丈夫、お母さんが来たからもう安心だから頑張りなさいと言ったらまた入れ箱に入って私もお腹をさすりながら、頑張り大丈夫だと声かけながらさすって、二匹目を産み落とす。

また同じようにきれいにして三匹目四匹と産み落とす。

そしてから、さすってやったらなんだかどうも五匹目が入っているように思ったので旦那に言ったらまめしばは、ちいさいから、ほとんど三匹ぐらいだと聞いてきていたの四匹も生んだから、ないわと言っていたが、心配で箱に親犬を入れて子供四匹産み落とすといけないからそこをかかえて上の玄関に入れてと言った。

そしてそのまま持って来たらすぐに五匹目が生まれた。

間に合って良かった。10段も降りたり上がったりが大変だからだ。無事にやっとな五匹の兄弟が誕生した。

さてそれからと言う日は、寝る間もない親も体が小さいのに五匹もお乳を飲まずとすぐなくなるから腹へって餌を催促するから寝ている訳にもいかないから、親の餌作りに大変歩けないから、小さいのでずっと親のところに乳さぐりに来て飲む。目も開いてないから、目は15日ぐらいから20日ぐらいまでかな？開かないのは五匹のうち一匹がとろくさくて、なかなか乳首 口に吸

わせてもすぐに離して また さぐっているの。

一番すばしこいの、牝犬でお乳が8個あるの、そのうちお尻側の方が4個ぐらい大きい。その一番大きいのを牝犬が飲むの。一番大きくて飲むのも一番多いし。また、一番とろくさいのもみんなが目が開いて見えても一番遅く目が見えるようになったけど、なんだかいつも入れ箱の隅に。それだけががりがりしたりして隅っこで寝ているの。四匹は重なって寝ていても、いつもいじめにあっているの。だからと言って別にすると泣くからね。

この子を思うと、この子は一番私に似てとろくさくて、食べるのも人が食べているのに一番遅く食べられるのも早く食べられないし、まるで私のようにだねえと言うの。目もまた網色変と違うのかと言って笑うの。

他のは見えてるのに探ってるように探って、歩くのも一番遅かったりふらつくようにして歩いていたりね。

だから私は、この牝犬が一番大事に抱っこしたりして、なるだけ親にくっつかせてやるんだけど離れるの。牝にのけられるからね。

だから一番ちいさかったよ。

誕生日は平成21年9月23日。

お彼岸を待ったかのように、夜中の12時半。一番に出たのがそれから3時まで5匹全部産み終わる時間。親の餌夜中も昼親は乳出すのに食べさす。飲ませたら食べると、よく腹へる。子供はちょっとずつしか食べられないから何回も作って食べさす。

離乳は1ヶ月と5日ぐらいからミルクの粉をなまぬるい湯で溶かして飲ます。それも指の先につけて味見させないと飲み方がわからないから飲まない。そして、缶詰のドックフードを指でつぶして指先でちょっとずつ食べさす。食べるとじきに大便やおしっこする。

その度に、新聞敷いてあるから廊下は紙オムツしいて、その上に新聞しいてあるからどこにするかわからない、だから端から新聞を折り曲げて、しとるかしてないか確認しながら見る。その新聞しき替えるにも時間かかるし、餌作りも同じ物ではあきてくるし。

まあ人間でも犬でも子育ては親も大変だけど、その面倒みるものもたいへん。夜中も腹へれば泣くし、親子がね。寝る暇ないよ。親も2日食欲もなく乳飲まさないで寝ていたよ。疲れが出たんでしょうね。私も2日、私の方が先に寝たけどね。主人が咳や鼻水などくしゃみとか、そして、みんなにうつしたのと疲れとね声も出なくなってしまうよ。私の場合ね。

そして、1ヶ月と7日ぐらいでそれぞれ四匹はもらわれていったよ。

初めの牝がいなくなった時は、親は新聞の間一枚一枚歩いてさがし隅っこまで見て泣いていた。呼んだり呼ぶのか？可愛そうだったよ。大丈夫。みんな大事にしてもらって家にいるより喜んでよと言いつけさせた。残った牝犬がまたいちばん横着、いちばんませていた。おおぐい みんな食べ方わからないうちから、それだけは歯が生えてきたらすぐから親の餌食べた。

みんなの分あげても一番始めから終わりまで食べていて他のはちょっとしか食べないのにほとんどこの牝犬が食べてしまう。

腹ふくると他の子犬を追っかけて邪魔する。

そしてまた少し経てば食べては運動。いじめするからころころと太っていちばん大きいし牝だね。親もこの犬嫌っている。本気で怒ると負けないでイチチョマエに吠えてかかってくる。

親の手をかみにいたりね。乳でも 歯が生えたばかりなので、とがっているからお乳でもかまれると痛いからね。

新聞返していても歯はたてないけど、お尻かんだり、足かんだりでそばえている。邪魔ばかりし

てて、今はやっこのオオチャクイ頭のいい犬が残った。

いや、残ったのでない主人がどうしてもこの子を置いとくんだと言って、私が世話して一番ほしい犬を置けなかったのが、悔しいしそしてまた親もそうだけど私も今は心配と様子が気になる。食べているか？寝られるか？泣いてばかりいないか？昼間1人で寂しくて 食べないで誰か来るの待っているかとかで、心配で聞かせてもらっている子はみなすごくだいじにしてもらっているらしいけど、それでも犬にとってはまだ早いから親離れはやくさしたから可愛そうだったけど家にいていじめられるよりは大事にしてもらえるかなあと思ったからね。まだ私の方が心が不安なの。

親は何も言わないけどそれ以上だと思うの。

またこれから大きくなるにつれて、このやんちゃ坊主がね。

昔テレビでライオンの子供の映画で、レオという賢い子供ののがあったの思い出して、この前から私は、レオと呼んでいるよ。レオのように優しく、そして強くなるようにね。

まだしばらくは家の中で飼ってやらないと。寒いからね。

今のところみんな目が悪くなさそうだよ。

最後の一匹が心配だったけども、少し前から強くなって今までやられたけどかかっていけるようになったから少し安心したけどね。

だから、その時でも「いじめにあった分、最後にやったね！」と応援してやった。

「人でも犬でも弱いと思ってなめてかかって虐げるとこうなるんだと思い知らせてやんな」と言った。

その弱かった犬が勇気を持ってかかっていったから最後に私に教えてくれた強い子になったから心配するなと言わんばかりに強くなったところを心配しないように見せてくれた。最後のその恩返しにだと思っているだから人間も何事も恩を仇で返さずに何かで感謝して恩返しになるような事を忘れないようにしなければね。

子育てをさせてもらったお陰でいろいろ私にも勉強させてもらったよ。

これからも親犬のように小さくても弱くても勇気持って何事にも真剣に頑張らなくってはね。

皆さんにも知らないからやれないから難しいからとか言わないで何でもやってみて、出来る出来ないは判断してもらいたいね。

私は中途半端になっても何でもやってみて挑戦するようにして頑張っています。みんな動物に負けないように自分の力で出来ることは頑張ろうね。長々とりとめもつかない文章になってしまいました。

立冬も過ぎ朝晩は暖房が恋しい季節になりました。昨年、たくさん咲いた洋蘭シンピジュームも今春植え替えたので今年はきれいな花が見られないだろうと毎日観察していたところ、一鉢に一本から二本小さなつぼみが顔を出し始めホットしております。二〇鉢あったのですが、今年は一〇鉢の半分に減らしました。主人が残した大切な花です。自分なりに主人が言っていた言葉を思い出し乍ら一生懸命育てております。空からそのやり方は間違っているよと言っているかも・・・・・・ 今は他に秋植え球根（百合・チューリップなど）植えました。春に咲くのを楽しみにしております。

先日の秋の鳥羽での野外交交流会一年ぶりにお会いできた会員の皆様お元気だったので嬉しく思いました。メダカの学校を計画して下さいました方、お世話下さった方ありがとうございました。今回参加して思ったことですが、私だけでしょうか？一言、健常者の方には適当な上り下りや石段があったりで一汗かいて歩くコースにはぴったりだと思うのですが、視覚障害者にはちょっとたいへんな道だなあーと思いました。でも、苦労してたどり着いた所から見た鳥羽の海は感激しました。帰りは足を痛めていたので車に乗せて頂き助かりました。ありがとうございました。

昼食後の話し合いで白内障のことができました。

私は平成一七年八月に先に右、一週間後に左を、両眼を二週間の通院で手術を受けました。近くを見るか、少し遠いところを見るようにするか、その都合でレンズを選ぶでのと言われ近くを見えるようにお願いしました。

術後一年ほど過ぎた頃少し見にくくなったことを相談するとレーザーを当ててくれたので手術を受けた直後ぐらいよく見え、今は好きな編み物を楽しんでおります。

会員の皆様との楽しいおしゃべりが短かったので今度お会いするときは、おしゃべりがたくさんできるように楽しみにしております。

年末も近いです。風邪など引かないようお互い体に充分気をつけてがんばりましょう！



第14回R P 三重総会議案書

1. 平成20年度事業報告

下記の行事を主催または共催し参加しました。

月 日	用 件	場 所	参加人数 (会員)	付き添い 等
4月1日	難病相談	難病センター	支部長	1名
4月17日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター	支部長	1名
5月1日	役員会	三重県視覚障害者支援センター	7名	3名
5月7日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター	支部長	1名
5月18日	膠原病友の会 「15周年記念大会」	津県庁舎	支部長	1名
5月22日	NPO 三重難病連の総会と 評議員会	難病センター	支部長	1名
5月22日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター	支部長	1名
5月25日	JPA の総会	東京	支部長	
5月26日	国会行動	東京	支部長	
5月26日	JRPS の代議員会の 事前打ち合わせ	東京	支部長	
5月31日	JRPS の代議員会	東京	支部長	
6月3日	難病相談	難病センター	支部長	1名
6月22日	定期総会	松阪市福社会館	44名	
6月24日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター	支部長	1名
7月4日	三重大学研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
7月13日	JRPS の運営会議	東京	支部長	
7月21日	JRPS の理事会	東京	支部長	
7月29日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター	支部長	
8月3日	地域相談会	四日市市	2名	1名
8月9.10日	JPA 東海ブロック交流会	岐阜	支部長	1名
8月13日	NPO 三重難病連の監査	難病センター	支部長	
8月18日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター	支部長	1名
8月24日	国際交流会	松阪市森林公園	20名	
8月26日	難病センター運営会議	難病センター	支部長	1名
8月27日	自由民主党との懇談会	自由民主党県本部	支部長	1名
8月27日	新政みえとの懇談会	三重県議会委員会室	支部長	1名
9月3日	県への請願書を提出	竹上事務所	支部長	1名
9月7日	地域相談会	熊野市	5名	
9月10日	請願書の再提出	三重県議会	支部長	1名
9月12日	三重大学研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
9月15日	JRPS の運営会議	東京	支部長	

9月20.21日	世界網膜の日	鹿児島	支部長	
9月25日	難病センター運営協議会	津県庁舎	支部長	
10月5日	地域相談会	伊賀県庁舎	支部長	1名
10月9日	難病センター運営委員会	難病センター	支部長	1名
10月9日	県への要望書のヒアリング	難病センター	支部長	1名
10月9日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター	支部長	1名
10月17.18日	松阪難病連楽会の親睦旅行	鳥羽市	12名	
10月25.26日	東海北陸リーダー研修会	静岡市	8名	
10月28日	難病相談	難病センター	支部長	1名
10月31日	三重大学研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
11月1日	地域相談会	伊勢県庁舎	支部長	1名
11月3日	秋の交流会	鈴鹿市	34名	
11月12日	自由民主党との再開きとり	自由民主党県本部	支部長	1名
11月12日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター	支部長	1名
11月23日	JRPS の運営会議	東京	支部長	
11月25日	難病センターの相談員研修会	難病センター	支部長	1名
12月3日	全国難病センター研究会	東京	支部長	1名
12月9日	難病相談	難病センター	支部長	1名
12月16日	難病センター運営会議	難病センター	支部長	
12月16日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター	支部長	1名
12月19日	三重大学研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
12月25日	難病相談	難病センター	支部長	1名
1月18日	支部との話し合い	横浜	支部長	
1月25日	JRPS の運営会議	東京	支部長	
1月25日	新春交流会	志摩市	35名	
1月29日	難病センターの相談員研修会	難病センター	支部長	1名
1月29日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター	支部長	1名
2月3日	難病相談	難病センター	支部長	1名
2月7日	JPA 中部ブロック交流会	名古屋	支部長	1名
2月8日	JRPS の理事会	東京	支部長	
2月23日	三重大学研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名
2月24日	難病センターの相談員研修会	難病センター	支部長	1名
2月24日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター	支部長	1名
2月26日	難病センター運営協議会	津県庁舎	支部長	
3月10日	難病相談	難病センター	支部長	1名
3月14.15日	支部長会	横浜	支部長	
3月19-22日	全国難病センター研究会	沖縄	支部長	
3月26日	難病センター運営会議	難病センター	支部長	
3月26日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター	支部長	1名
3月30日	三重大学研究倫理委員会	三重大学	支部長	1名

2. 平成20年度決算報告

収入の部

項 目	細 目	予算額	決算額
本部より支部支援金		50,000	50,000
QOL 対策費		20,000	20,000
総会(参加費)	700円×36名	17,500	25,200
総会(弁当代)	800円×37名	30,000	29,600
総会(懇親会費)	3000円×17名	60,000	51,000
新春交流会参加費	4000円×32名	120,000	128,000
難病センターより		110,000	110,000
寄付		50,000	30,000
雑収入	パンの売り上げ、共同募金など	30,000	65,000
合計		487,500	508,800

支出の部

項 目	細 目	予算額	決算額
役員行動費		90,000	100,860
総会の印刷費		3,000	4,690
総会の通信費		3,000	3,620
総会の講師謝礼等		76,000	75,900
会場使用料等		25,000	26,856
総会の弁当代			39,354
ボランティア交通費等		10,000	8,970
懇親会費		60,000	51,250
三重難病連の会費		20,000	20,000
会報の印刷費		4,000	1,098
会報の通信費		1,000	4,152
新春交流会の印刷費		1,000	0
新春交流会の通信費		2,000	0
新春交流会の講師の謝礼等		10,000	12,000
ボランティア交通費等		10,000	6,280
新春交流会の食事代		110,000	104,191
勉強会での講師謝礼等		20,000	25,000
勉強会のボランティア交通費等		5,000	3,095
事務費		5,000	0
雑費	新春交流会の残金を網膜基金等		21,484
予備費		32,500	
合計		487,500	508,800

3. 平成21年度事業計画（案）

月 日	用 件	場 所
4月2日	難病相談	難病センター
4月17日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター
5月9日	役員会	松阪市民活動センター
5月22日	NPO 三重難病連の総会	難病センター
5月22日	NPO 三重難病連の理事会	難病センター
5月30日	代議員会	東京
5月31日	JPA の総会	東京
6月4日	難病相談	難病センター
6月28日	定期総会	松阪市福社会館
7月5日	桑名地域難病相談会	桑名メディアライブ
8月24日	国際交流会	松阪市森林公園
9月1日	難病相談	難病センター
9月6日	尾鷲地域難病相談会	尾鷲県庁舎
9月13日	研修会「歩行訓練」	場所は未定
10月4日	松阪地域難病相談会	松阪県庁舎
10月17.18日	東海北陸リーダー研修会	福井
10月27日	難病相談	難病センター
11月1日	鈴鹿地域難病相談会	鈴鹿県庁舎
11月8日	秋の交流会	南勢地域を予定
12月8日	難病相談	難病センター
1月12日	難病相談	難病センター
1月14日	難病相談	難病センター
1月24日	新春交流会	中勢地区を予定
3月2日	難病相談	難病センター
3月(未定)	役員会	未定

4. 平成21年度予算（案）

収入の部

項 目	細 目	金 額
本部より支部支援金		50,000
QOL 対策費		20,000
総会（参加費）	500円×30名	15,000
総会（弁当代）	1000円×30名	30,000
総会（懇親会費）	3000円×20名	60,000
新春交流会（参加費）	4000円×30名	120,000
難病センターより		92,000
寄付		60,000
助成金	アステラスなどからの助成金	110,000
合計		557,000

支出の部

項 目	細 目	金 額
役員行動費		120,000
総会（印刷費）		3,000
総会（通信費）		3,000
総会（講師謝礼等）		80,000
総会（会場使用料等）		25,000
総会（ボランティア交通費等）		10,000
総会（弁当代）	1000円×30名	30,000
総会（懇親会費）	3000円×20名	60,000
三重難病連の会費		20,000
会報（印刷費）		4,000
会報（通信費）		1,000
新春交流会（印刷費）		1,000
新春交流会（通信費）		2,000
新春交流会（講師謝礼等）		10,000
新春交流会（ボランティア交通費等）		10,000
新春交流会（食事代）		110,000
勉強会（講師謝礼等）	歩行訓練士2名分	40,000
勉強会（ボランティア交通費等）		5,000
事務費		10,000
予備費		13,000
合計		557,000

5. その他

- ① 役員を選任について
- ② 代議員を選任について

1971年8月7日 第3種郵便物認可（毎月6回 1の日・6の日発行）
2009年12月10日発行 SSKA 増刊通巻第6764号

SSKA

ああるぴい

—◇ 編集後記 ◇—

1. 今回は秋の交流会で白内障についてとりあげました。その記事を最初にし、続いて旅行記、いろんな話題の順で記載しました。
2. 新春交流会のお知らせでも書かせていただきましたが、当日に、オークションをさせていただきます。都合がつかなくて参加できない方でも、私宛に遊休品を送ってくだされば、当日のオークションにかけさせていただきます。
3. メールをされている方で、まだ支部長までメールアドレスを連絡していただいていない方は、是非連絡をお願いします。メールだと経費と時間が大幅に短縮されますので、ご協力をお願いします。
4. 新春交流会に、是非参加してください。
5. 今年度初めて、アステラス製薬株式会社 様から助成金をいただき、三重支部の運営の助けになっていますことを、紙面をもって報告させていただきます。

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

編集：RP三重会報編集部 河原洋紀
〒515-0847
松阪市岩内町614
(電話・FAX) 0598-58-2664
(e-mail) hk2664@aqua.ocn.ne.jp

定価200円